

出張報告届

令和7年 11月 7日

吹田市議会議長様

会派名 参政党  
代表者氏名 久保直子  
出張者氏名 久保直子

下記のとおり出張したので届け出ます。

記



出張先	春日井市立高森台中学校・出川小学校
期間	令和7年 10月 30日から 10月 31日まで 2日間
出張の成果	別紙のとおり
備考	当日の出発では、令和7年10月31日午前9時の開会に間に合わないため、前泊しました。

令和7年度 文部科学省研究開発学校 研究発表会

春日井市立出川小学校・高森台中学校



■ ICT 教育視察報告書 参政党 久保直子 (R7.10.31)

1, 初めに

教育のあり方について、私の考え・・・

○教育には理念が大事。また、日本人としての自信と誇りを持てる歴史観を持つ事が大事だと考えています。1人ひとりの心と良さを大事に伸ばし、主体性を奪わない多様な教育環境の整備が必要だと考えています。人や地域等とのつながりを感じられ、感動できる場を設定する事も重要だと考えています。

- ・できるだけ子どもが自身で体験する授業、小学生のうちには遊びの中から学んでいく
- ・『1人で学べる人になるように』正に教育はここにあると考えます。偏差値や点数で評価される学問ではなく、人生において、困った時にどう解決するかを考える力を身につけること、自立ができることを目指すべきであり、それを支援するのが教育だと考えます。教えるだけでなく、育むこと。それぞれの個性に合わせた育みができる事が真の多様性を認める教育だと考えます。
- ・現在の詰め込み型の偏差値教育ではなく、探究、体験を軸にした教育が必要。

2, ICT 教育に関して、視察前のイメージと実際に春日井市で行われている内容を知った率直な感想・・・

○視察前、ICT 教育は使い方によっては、教育効果が高いものもあっていました。低学年の 1 人 1 台端末についての是非を知れたらと思っていました。視察後、1 人 1 台端末により、共働して学ぶ子供達の姿がありました。春日井市の研究指定校 2 校の先生方の理念『学び続ける子供の育成』に対する思いと長年の実践、生成 AI の台頭によって、子供達が自分に合った学びを続ける意欲的な姿を見ました。こちらの個別最適な学びの実現をどんどん広げていけたらと思いました。

・いわゆるギガスクール構想ではない教育。今必要な教育の形が見えました。

・ICT 教育は、流行りの ICT を使うことだけが目的で、子ども達が考える力や文字を書く力を逆に奪うのではないか、まだ脳が発達段階にある子どもに画面を通じたコミュニケーションのない環境を与える事に危機感を感じていましたが、春日井市の取り組みは、それらを全て払拭するものでした。江戸時代の寺子屋で学べた自分で考えるための情報を ICT を使って得る、それをサポートする指南役を先生が担う。そこで子どもらが得意分野や興味関心を広げていく。画面に向かうだけでなく、必ずコミュニケーションで言葉にし、伝える力もつけていく事ができる。現代の寺子屋だと感じました。加えて春日井市では習字を必須にされている事で文字を書く力もつけています。教科書を読み込む力もつけている。ICT 教育とはこうあるべきと、目から鱗でした。

・教科書だけでは不足しがちな情報量を、自分で探しにいかけて、さらにそれを使って発表までできるというのが新しいと思いました。

3, 「良かった点」特に印象に残った事例や、取り組み・・・

○アンケート結果で、勉強がよくわかる、の回答の割合が大幅に増えていた所です。これまでは、わからない所を先生に聞く以外中々自分で解決し辛かったことが、生成 AI で瞬時に解決できていました。使いこなせるまで繰り返し習得させるカリキュラムが生きていると感じました。

・何をするにも子供達に決めさせる。主体性を重視した授業。それぞれの力に合わせた押し付けではない『目当て』を自らが決めて取り組む姿が良かったです。

・歴史の授業でしっかり調べたり、根拠となる事柄を明確に示すところまで自分でできるところが良かったです。

・アナログからデジタルへというものではなかった事を理解する事ができました。自分と向き合う事ができると思います。

4, 「改善の余地」良くないと感じた点や抜けている点・・・

○ 情報の収集において、情報源が枠にはまっていないか、偏っていないか、テレビやマスコミ等の大衆意識に流されていないか、先生方の思想に偏りはないかという点は改善の余地があると思います。物の見方・考え方において、子供達に多角的に、批判的に、公正公平に等と指導されていますので、それ以上に学校教育現場で働く先生方は、その意識を高く持ち、努力して頂きたいと思いました。

・春日井市の問題ではないのですが、情報ソース(一次情報)が必要な授業の中、検索エンジン次第で取れる情報が決まってしまう。その情報を疑う事も教えながら、情報の取り方を学べれば、偏った情報の取り方にならないと思いました。

・パソコンに向かう姿勢が悪い子が少数いた。やはり視力やストレートネックへの配慮は必要だと思いました。

・姿勢をよくして、目を近づけすぎずに使うことが低学年には必要だと思いました。

5, 終わりに

視察内容から、吹田市での教育施策に活かすために・・・

○ 情報の時間の位置付けや生成 AI の活用状況、目標、「情報に関する取り組み」や課題等の実態調査をし、春日井市の実践を紹介したいと思います。

・バラバラの端末利用になっているため、情報という授業で使い方や探求方法、まとめ発表方法が定着されるようになっているか確認し交流したいと思います。